



for Yoshino's future

吉野の未来のために

新春恒例 出初式

1月7日 旧吉野小学校で開催

消防団員の規律士気を高揚すると共に消防技術を練磨し、有事における消防機能の発揮に万全を期することを目的とした、新春恒例の吉野町消防団出初式が、1月7日旧吉野小学校体育館にて、また公益財団法人奈良県消防協会吉野支部連合出初式が同月21日旧天川村立天川中学校体育館にて盛大に行われました。

出初式の席上、下記の方々が表彰等を受賞されました。

▶旧吉野小学校での式典の様子



優良消防団員 表彰

【敬称略】

吉野町長表彰

瀬川輝雄(龍門)、片岡裕二(上市)、阪本龍一(中竜門)
西田裕也(国栖)、森田孝信(吉野)、山本正造(中荘)

吉野町消防団長表彰

上田晃士(吉野)、秦 彰寛(上市)、大谷尚裕(中竜門)
和田茂樹(龍門)、丸谷悟士(中荘)、小泉大和(国栖)

吉野警察署長感謝状

八釣直己(上市)、岡本悠輝(中竜門)

奈良県知事表彰

藤中厚志(吉野)、豊田和教(中竜門)、藤門智也(龍門)
松田正昭(中荘)

奈良県消防協会 協会長表彰

大西正明(上市)、南 雅樹(中竜門)、田上陽司(吉野)
涌田 潤(中荘)、福仲俊徳(国栖)

奈良県消防協会吉野支部 支部長表彰

窪 史徳(国栖)、歌藤健太郎(吉野)、福本雅也(国栖)
辻 伸晃(吉野)、中植俊治(上市)、鈴木啓人(上市)
新谷安徳(吉野)、瀧 剛樹(中竜門)、中村正憲(中荘)
涌田哲司(中荘)



TREASURE YOSHINO

次世代へ継承

郷土出身の詩人が生きた人生

池田克己 没後70年記念講演会



12月17日、町中央公民館大ホールで、池田克己没後70年記念講演会が開催されました。(町教育委員会・吉野町観光ボランティアガイドの会共催)池田克己は、明治45(1912)年、吉野町平尾の旧扇屋に生まれ、龍門尋常高等小学校、県立吉野工業学校建築科卒業後、



詩友により建立された池田克己詩碑 (S58.4.建立:津風呂湖畔)

詩作に励み、戦前・戦中の激動の流れの中、国内、上海を舞台に詩壇で活躍。戦後、詩誌『日本未来派』を創刊し、戦後詩の新たな潮流を生み出しました。(1953年没享年41歳)講師に奈良大学文学部教授木田隆文氏を迎え、大正期吉野の豊かな文化環境によって育まれた池田少年の文学的感性が、その後の人生に大きな影響を与え、生涯にわたって故郷龍門への望郷の念を忘れなかった詩人池田克己の一生涯を功績とともに振り返りました。



空き家等対策の推進に関する特別措置法の一部改正する法律が令和5年12月13日より施行されました。

空き家は放置せず、「仕舞う」・「活かす」で住みよい街に。

除却

活用

\\ 空き家発生! //

空き家の対処に困ったら、早めに空き家のある市区町村の窓口または不動産・相続などの専門家へ相談を。



特定空き家に加えて管理不全空き家も指導・勧告の対象となりました。

管理不全空き家

窓や壁が破損しているなど、管理が不十分な状態。



特定空き家

そのまま放置すると倒壊等の恐れがある状態。



市区町村からの指導に従わず、勧告を受けてしまうと固定資産税の軽減措置が受けられなくなります。

固定資産税等の軽減措置の対象外

国土交通省

吉野町

空き家対策に関する情報はホームページをご覧ください。

[空き家対策](#) [国土交通省](#)

中学生 税についての作文

吉野町長賞

「税金の使い道」

3年 武林 怜奈

私は普段生活していて、税金についてしっかりと考えたことはありませんでした。ですが、税金についての話を聞いて考えが変わりました。その中でも印象に残ったことが二つありました。

一つ目は、支払った税金の使い道についての話です。その中でも驚いたのは、公共の建物や学校で使っている机などが税金によるものだということでした。他にも、救急車や消防車、パトカーを呼ぶのにお金がかからないのは日本に税金があるからだということを知りました。このことを知って、以外と身近に税金が使われていることを知り、他のどのようなところに税金が使われているのかが気になったので調べてみることにしました。調べてみると、健康や生活を守る社会保険費や地方を支援する地方

交付金などに使われていることがわかりました。これを知って私は、普段自分たちが何気なく支払っている税金が自分たちの暮らしを良くしているというところがわかりました。

二つ目は、世界の税金の話です。日本の消費税は十パーセントで、多いと感じていました。ですが、調べてみると他の国の消費税は台湾は五パーセント、シンガポールは七パーセントと日本より少ない国もありましたが、スウェーデンやデンマークは二十五パーセントと高い国もありました。その中でも、一番消費税が高かったのはハンガリーの二十七パーセントでした。でも一番驚いたのはアメリカには消費税がないということでした。このことを知って、消費税は全世界同じ十パーセントだと思っていたのに、消費税がない国もあれば、高い国や低い国があるということがわかりました。

最初、税金というものは「そんなに身の回りにならない」と考えていましたが、調

べることで普段支払っている税金が、自分たちの生活している回りでいろいろな物に使われているということがわかりました。それに、自分の支払った税金が誰かの助けになっていると考えると嬉しい気持ちになりました。アメリカには税金がないと知ったときは、羨ましいと思いました。でも、税金を支払わないことで、救急車や消防車、パトカーを呼ぶのにお金がかかるということだと思いました。このようなことから私は、税金を支払うことは全ての人のためになっている大切なものだと感じました。



吉野税務署管内

租税教育推進協議会長賞

「税でつながる明るい未来」

1年 六雄 称子

税金が、私たちの身近なものに使われているとしたら、どんなものがあるのでしょうか。また、税金の使い道は、一体誰がきめているのでしょうか。

私のような中学生で、身のまわりで税金が使われているものといえば、教科書やワークなどの教材、机や椅子もそうです。教科書の裏側のすみに、「この教科書は、税金によって無償で支給されています。」と小さい文字で書かれているのをよく見るので、教材には、税金が使われているんだなと思っていました。ですが、机や椅子などにも税金が使われていたというのは初めて知りましたし、こんなにも私のまわりには税金でまかなわれているものがあつたんだとびっくりしました。

もしも、税金がなくなり、「税金がない世界」になってしまったら、私たちの暮らしはどう変わるのでしょうか。

例えば、私たち学生は、身のまわりのほとんどのものが税金でまかなわれています。そのため、それを全て家族でお金を負担することになってしまいます。ちなみに、中学校では、年間一人当たり約百万六千円もの税金が使われているそうです。そんな大金を個人で払うとなると、大変負担が重くなるのがわかると思います。

また、日々安全な暮らしを守ってくれている警察官の方たちは、私たちから集めた税金を使っています。もし税金

がなくなれば、私たちが何かトラブルに巻き込まれてしまった時に、相談したり、捜査や逮捕したりしてもらおうにも、お金を払わなければならなくなります。

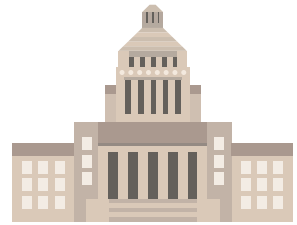
色々なところで使われている税金。では、一体、その税金の使い道は誰が決めているのでしょうか。それは、国会です。そして、国会で審議されているということは、つまり、私たち国民が選挙で選ぶ国会議員(国民の代表)により、税の使い道が決められているということになります。

税金にあまり興味がなかった私ですが、税金について調べてみてから考えてみると、私が毎日、充実した学校生活を送れるのも、必要なお金を、みんなで出し合っているからなんだな、と思いました。

他にも、税金は建物や施設をたてたり、困っている人を助けたりすることにも使われているそうです。私たちが出したお金で、困っている人たちを助けているんだと思うと、とてもほろほろしい気持ちになります。

税金のない世界のように、個人で大きな負担をかかえるのではなく、みんなで少しずつわけて、助けあっていくこ

とで、明るい未来につながっていくのではないのでしょうか。



公益社団法人吉野納税協会会長賞

「自分たちを支える税金」

1年 佐々木 舞

買い物をする時、毎回必ず消費税が上乗せされます。数年前までは3%だった税率が、5%、8%とあがっていき、今では消費税は10%にまであがっています。自分とは関わりが浅いと思っていた税金ですが、税金によってももの値段があがり、だんだんと身近なものになっていきます。集められた税金は、自分たちのよりよい社会のために使われているとよく聞きます。けれど当時の私は、どうしてそんなに税金が必要なのか、と税に対してあまり良い印象を持っていませんでした。

ものを買うときや社会人になって給料をもらう側になったとき、家や土地を

買うときなどに支払っているのが「税金」です。今現在、世の中では欠かせない存在であり、納税は国民の義務だと日本国憲法に示されています。その中で、税金の使い道として私が一番驚いたものがありました。道路に何気なく設置されている、「点字ブロック」です。点字ブロックは、視覚に障害を持っている人が、迷わないようにと安全に道を通れるように設置されたものです。当たり前のようにありますが、安心して道を渡るための大切なものです。そんな点字ブロックにも国や市が集めた税金が使われていると知り、私は感心しました。大多数の人たちのためだけではなく、障害を持った人たちのためにも使われているということがとても良いと思いました。

また、学校で使う教科書だけでなく、椅子や机、さらには学校を建てることにも税金が使われているらしいです。もしも税金がなかったら、新しく学校を作れなくなるし、学校で使うもののお金は自分たちで払わないといけません。さらに、給食も給食費の他に税金が使われているので、一度に払う給食費がもっと高くなってしまいます。そうなることで、学校に通うことが難しくなってしまう

ます。そういうふうに考えてみれば、税金は今の時代では必要なものなのだと思います。

さらに、医療機関にも税金が使われていることを知りました。病気や怪我、事故に遭ったときに利用する病院も、税金でまかなわれているのです。非常時に呼ぶ救急車も、自治体の税金が使われているので無料だそうです。自分だけではなく、誰かが払った税金が病院を利用する人たちの助けになるんだと感じました。

国民が日々、国や地方に支払うのが税金です。どうしてそんなに必要で大切なのか、それは誰でもない自分たちのためなのだと考えました。しかし私がかかっているのはごく一部であって、全てを理解しきれはけません。それでも私は、この先たくさん誰かのためになるような、そんな税金であって欲しいと思います。

